

山形県立東桜学館高等学校 平成29年度経営計画

【基本理念】	「高い志」「創造的知性」「豊かな人間性」
【学校教育目標】	1 地域社会及び国際社会の発展に貢献しようとする高い志を育てる。 2 豊かな感性や探究心と論理的な思考力を基盤とした創造的知性を育てる。 3 心身ともに健やかで、郷土愛と公共の精神に富む豊かな人間性を育てる。

※評価A～D(A:十分に目標達成 B:目標達成 C:もう少しで目標達成 D:目標達成まで努力)

目標と方策	【評価項目】評価内容(目標数値)	自己評価	外部評価
I 高い志を持つ生徒を育てる			
1 学習の深化・高度化を図り、知的好奇心を涵養し、自らを高めようとする心を育てる。(教務図書課)			
(1) 教材の精選や授業改善、高大連携、企業や地域との交流など、生徒の興味や意欲に働きかける教育環境を整えていく。 ・授業を大切に、授業を中心とした学習リズムを早期に確立させる。 ・授業第一主義を自覚させるとともに、授業以外でも教室が自学自習の場になるような雰囲気づくりを指導する。 ・学習方法及び学習計画を自ら検討、修正し自学自習する力を育てる。	【学校評価・生徒2】「本校では、わかりやすく、進路志望達成に向けた授業がなされている。」の向上 【学校評価・保護者5】「子どもは目標をもって充実した学校生活を送っている。」の向上	B	A
2 他へ貢献する機会を通して、自己を知り他者を尊重する態度を養う。(生徒課)			
(1) リーダーとしての自覚を促し、生徒会活動・委員会活動の活性化を図る。 ・学校のリーダーとして、模範となるような考え方や行動ができる資質を育てる。 (2) 委員会や広報活動を通じて、地域交流及びボランティア活動を一層推進する。 ・生徒会活動やボランティア活動等にも積極的に参加させ、コミュニケーション力や自己表現力の育成を図る。	委員会等の活動報告を毎月1度以上行う。 ボランティア参加者の年間累計700名以上	B	A
3 キャリア教育の充実を図り、自ら進路を切り開く生徒を育成する。(進路学習課)			
(1) 学習指導や進路指導およびSSH関係行事等の相互の関連を重視し充実させる。 (2) 共通理解のもとに、足並みを揃えた指導に務める。 (3) 個人面談や集会等を通じて、主体的に学び意欲的に挑戦する姿勢を育てる。 (4) 講演会や進路情報の提供等を通じて、主体的に進路を決定できる力を育成する。	【学校評価・生徒7】「本校では、進路についての情報提供が適切に行われている」、【学校評価・保護者8】「進路に関する情報の提供は適切で分かりやすい」、【学校評価・保護者9】「進路に関するガイダンスや講演会、オープンキャンパスへの参加等が適切に行われている」、学校評価・保護者10「進路の目標達成に向けて一人一人にきめ細かい指導をしている」の向上	B	B
4 協調学習の研究・実践を推進し、学習意欲の向上に導く。(研究課)			
(1) 生徒の主体的な学びを支援するため、研究テーマを設定し教科会の充実を図りながら、授業研究をより一層深めていく。 (2) 協調学習等を通して互いに学びあう楽しさを実感させ、主体的に学習する態度を育成する。	【学校評価・教員 5】「本校では、協調学習など生徒が主体的に学習する授業についての研究がなされている。」の向上 全ての教科・グループで年2回授業研究及び事後研究会を行う。	B	B
5 SSH事業を通し、知的好奇心を喚起し、自己の生き方在り方を考える態度を育てる。(研究課)			
(1) SSH事業の充実に向けた取組を推進するとともに、大学・研究機関や企業との連携を図りながら、外部の研究会に参加できる生徒の育成を図る。 (2) ユネスコスクールの認定とESD指定校を目指し、学校間ネットワークを活かしながら持続可能な発展のための教育を推進する。	外部の研究会に参加した生徒が延べ80人以上。 【学校評価・教員 19】「本校では、ESDの視点に基づいて授業が行われている。」の向上	B	A
6 健康・安全の意識向上を図り、自己管理能力を高める。(保健課)			
(1) 健康観察簿等を利用して生徒の健康状況を把握し、保護者との連携を密にしながらか生徒理解を進める。 ・保護者と連携しながら3点固定を励行し、健康的な学校生活が送れるよう指導する。 (2) 健康診断で治療の勧めのあった生徒に、早期治療に行く時間を確保する。 (3) 清掃点検・環境点検を実施しながら、生活環境・学習環境を自ら整備する意識を育てる。 ・日々の清掃活動を通して、協働することの大切さや公共物を大切にすることを養うと共に、学習環境の整備に努めさせる。	毎日の生徒の出席率を99%以上に維持する。 「精密検査・治療の勧め」に対する報告を70%以上にする。 【学校評価・保護者 15】「教育施設等の環境整備がなされ、生徒の安全や健康に十分に配慮されている。」の向上 【学校評価・生徒 19】「私は、自律的な生活を送り、健康管理に努めて積極的に学校で活動することができた。」の向上 (A40%以上) 【学校評価・生徒 20】「清掃活動にまじめに取り組み、学習環境を清潔に保つことができた。」の向上 (A60%以上) 【学校評価・教員 20】「本校では、生徒の心身の健康・安全について十分留意・配慮しながら指導がなされている。」の向上 (A50%以上) 【学校評価・教員 21】「本校では、安全点検・環境点検を定期的に行うなど、環境整備が十分に行われている。」の向上 (A70%以上)	B	B
II 創造的知性を持つ生徒を育てる			
1 授業で生徒の主体的・協働的な学びを育てる。(教務図書課)			
(1) 主体的・協働的な学びを育成する指導方法を研究し、授業改善に取り組む。	【授業評価 7】「先生の授業には、お互いに学びあったり、協力して問題を解決したりする場面がありますか。」の向上 【学校評価・保護者 6】「進路に応じたカリキュラム編成のもとに丁寧でわかりやすい授業をしている。」の向上	B	B

2 学習メディアセンターの利用により生徒の探究心を育てる。(教務図書課)			
(1) 学習メディアセンターの利用促進 ・年次、教科、課と連携し、授業・LHR・受験指導での利用を推進する。 ・新入生学習メディアセンターORTを実施し、利用についての指導をするほか、社会的、文化的、科学的ツールやレファレンスサービスを活用する能力を育成する。	【学校評価・生徒 15】「本校の図書館は利用しやすく、校内の学習センターとしての機能を適切に果たしている。」の向上	A	A
3 基礎学力を保証し、創造的知性を引き出す。(進路学習課)			
(1) 定期的に学習指導を検証し後の指導に生かす。また、他教科の取組みも参考にしながら効果的な指導法を模索し、共有しながら積み上げていく。	【学校評価・生徒 2】「本校では、わかりやすく、進路志望達成に向けた授業がなされている」、【学校評価・生徒 6】「本校では、学校生活全般にわたって適切な個別指導がなされている」の向上 【学校評価・保護者 6】「進路に応じたカリキュラム編成のもとに丁寧で分かりやすい授業をしている」、【学校評価・保護者 7】「子どもの家での学習の取り組みは質量ともに十分なものである」の向上	B	B
4 進路達成に向けた学習指導の充実を図る。(進路学習課)			
(2) 東桜立志会等を通して難関大志望者の意識の高揚を図り、学力を伸ばす。 (3) 難関大進学者に対応するために、教科研修の充実を図る。 (4) 3年次の進学指導については、全職員で当たる。	(2) 東北大 1 名以上を含む国立大 60 名以上合格 (3) センター試験の目標 6-8 の全国平均以上が 30 名以上。得点率 8 割以上が複数。②各教科受験総数の半数以上が全国平均を上回る。 (4) 学習時間の目標① I Ⅱ 年次…平日 3 時間を目安とし、一週間で 2.5 時間以上。② Ⅲ 年次…平日 5 時間を目安とし、一週間で 4.5 時間は下回らない。	B	B
5 他者と協働しながら、自ら課題を見つけて解決に導き、学びの成果を正しく伝えるための表現力を身に付けさせる。(研究課)			
(1) 生徒が主体的に探究活動に取り組むことができるように未来創造プロジェクトの計画・運営を行う。	【学校評価・生徒 3】「本校では、授業や総合的な学習の時間などにおいて、生徒が主体的に探究活動に取り組むことができるように計画がなされている。」の向上	B	A
Ⅲ 豊かな人間性を持つ生徒を育てる			
1 家庭・地域との連携に努め、教育活動の充実と生徒の健全育成を図る。(総務課)			
(1) PTA関係の活動や行事への保護者の出席率を高める。 (2) 緊急連絡体制を整備して、即時性を高める。	各種会合や行事への保護者の出席率 75% 以上。 携帯メール連絡網の登録率 75% 以上。 【学校評価・保護者 17】「PTA 活動は、著名人による講演会などが活発に行われている。」の向上 【学校評価・保護者 18】「学校と保護者の連携が密であり、十分なコミュニケーションが成されている。」の向上	B	B
2 情報発信を密にした広報活動に努め、地域に開かれた学校づくりに寄与する。(総務課)			
(1) PTA 会報や年次・学年だより等々の刊行物を利用して、他分掌との連携を図りながら、学校での指導を家庭・地域と共有できるようにする。 (2) ホームページ等々を活用して、外部へのタイムリーな情報発信を行う。特に、PTA 講演会・公開授業・未来創造プロジェクト発表会・東桜祭は、保護者以外の地域住民を対象とした広報活動も行う。	【学校評価・保護者 1】「本校の基本理念や学校教育目標をわかりやすく伝えている。」の向上 【学校評価・保護者 3】「授業公開、地域行事への参加、広報活動などを通して、開かれた学校づくりに努めている。」の向上 【学校評価・保護者 4】「年次・学年だより、年次・学年コラム、PTA 会報、進路関係情報誌などの刊行物やホームページを通して、学校の様子がよくわかる。」の向上	B	B
3 読書や探究活動を通じて、生徒の豊かな感性と人間性を育てる。(教務図書課)			
(1) 図書委員会活動の促進 ① 広報紙「まど」で読書を啓蒙する。 ② 学習メディアセンターにテーマ別閲覧コーナーを設け、展示の工夫や装飾などで利用しやすい環境をつくる。	生徒一人あたり年間 5 冊以上の貸出を目指す。	B	B
4 高い倫理観を持ち、品性ある生徒を育む。(生徒課)			
(1) 各年次団と連携し、教育相談体制の充実を図りながら、問題を抱えた生徒の早期発見と支援に努める。 ・挨拶や身だしなみなどの基本的な生活習慣を確立する。	【学校評価・生徒 12】「本校では、校内外の規則やマナー指導が適切に行われている。」の向上	B	A
5 自らを律しつつ、他と協調する意識を育成する。(生徒課)			
(1) いじめ問題について、LHR で最低 1 回以上取り組む。 ・いじめの防止と早期発見・早期解決を図る。 (2) 生徒会で「思いやりの芽を育てる全校アクションプラン」を実施し、生徒総会で発表する。	【学校評価・生徒 18】「本校では、ホームルーム内のコミュニケーションが十分に行われている。」の向上	B	B
6 部活動を通じて、心身共に健康な生徒を育成する。(生徒課)			
(1) 東桜学館での新たな部活動環境の整備を行う。 (2) 部活動満足度調査を実施し、活動を客観的に評価する。 ・部活動に積極的に参加させ、心身共に逞しく成長できるよう支援する。	【学校評価・教員 11】「本校では、生徒が部活動に積極的に参加・活動している。」の向上 部活動満足度調査における満足度「大変＋ますます満足」の割合向上	B	B
7 生徒・保護者との相談活動を通して、問題を抱えた生徒の早期発見と支援に努める。(保健課)			
(1) ケース会議、SS 委員会等で情報を共有し、多くの目で生徒理解に努め、組織的な対応を行っていく。 (2) 教員特に保健課員のカウンセリングマインドを高め、相談しやすい雰囲気と環境を整える。 ・日々の健康観察や面談を通して生徒の健康把握に努めるとともに、保健課と連携しながら健康相談・教育相談を行う。	【学校評価・生徒 16】「本校は、生徒の心身両面にわたった配慮がなされ、不調時には十分な対応がなされている。」の向上 【学校評価・保護者 14】「カウンセリングなどが利用しやすく、心のケアの体制も整えられている。」の向上	B	B
8 地域社会の人々との交流を推進し、コミュニケーション力を身に付けさせる。(研究課)			
(1) 探究活動等を通じて、大学・研究機関や企業など地域社会の多様な人々とふれあう機会を増やす。	【学校評価・生徒 4】「私は、授業や探究活動など様々な教育活動を通して、大学や企業、地域など校外の方々との交流を積極的に行った。」の向上	B	B